

風土記の丘の花だより²¹¹

今、そしてこれから見られる植物(2023年11月11日)

涼しくなったと思ったら、また夏日、ホントにどうなっているんでしょうね。でもこればかりは私たち人間にはどうすることもできないことです。気候の変化に合わせた生活をし、体調の管理につとめることにしましょう。



やっとセンブリが咲きました。オケラ、ワレモコウに続いて風情のある秋の花が咲いたのです。ツボミの時期が長く、待ち焦がれていました。前山23号墳や、そこから先の坂道沿いでたくさんの花を見ることができます。ベンチの少し前、左斜面です。千回振りだしても(煎じても)薬効がある。それで「千振り」です。普通、センブリの花びらは5枚ですが、小さな株では4枚のことが多いです。こんな小さな花ですが、咲く時をちゃんと知っているのです。自然はやっぱり素晴らしいですね。



続いて名前にも「秋」がついている花、アキノキリンソウを紹介します。今年も去年と同じ所に咲きました。名札もまだ残っていました。小早川家から急なクネクネ道が続きますが、2つめの大きな右カーブ、23号墳に上る道の手前、木の柵が切れる辺りです。黄色いのですごく目立ちます。でも残念ながらたったの一株です。前は99号墳などの周辺にもあったのですが、見られなくなりました。日陰に生えているのでヒョロヒョロです。日向に生えるものはもっとしゃんとしています。



新池の周りのツバキの木に巻き付いたサネカズラの実が赤く色づいてきました。これをご覧になる頃には、写真よりもっと赤くなっていることでしょう。中心に台になるようなものがあり、それにたくさんの小さな実が付いている面白い形です。別名をビナンカズラ「美男葛」といいます。私はずっとそう呼んでいましたが、周りではサネカズラという人の方が多そうなので、最近そう呼ぶようにしています。でもどっちが正しいというものではないと思います。好きなように呼んでください。



船屋や谷山家の南側で竹に花が咲いています。どうやらこの竹はクロチクだと思います。竹に花が咲くのは珍しいことと言われています。スマホで見ると、各地からの報告が出ていました。開花周期は120年というから驚きです。今年は全国的にクロチクが開花する年に当たっているのでしょうか。スマホの情報が本当ならば、一生に一度しか見られない花なのかも知れませんね。

松